令和4年度　施策・基本事業マネジメントシート （令和3年度実績に基づく評価）

作成日　令和　4　年　7　月　25　日

政策体系				施策主管課長	
	基本目標名	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり		観光推進課
	政　策　名	1	観光とコンベンションによる賑わいと活力あるまちづくり		菅原　仁
	施　策　名	1	ひとを集める観光戦略の展開		
施策関係課	広報ブランド推進課、市民活動促進課、市民生活課、産業政策課、農政課、農山村振興課、文化推進課、スポーツ推進課、文化財課、デジタル推進課				

1. 施策の目的と成果把握

施策の目的「対　象」	この施策は、誰、何を対象としているか	対象指標	単位	R1	R2	R3
	①国内に居住する人（関東地方） ②アジアの観光客 ③市民	① 関東地方1都6県の人口	千人	43,464	43,653	43,561
		② アジアからの観光客数	千人	26,819	3,404	150
		③ 市の人口	人	118,450	117,706	116,982
		④				

施策の目的「意　図」	この施策によって、「対象」をどういう状態にするのか	成果指標（意図の達成度を表す指標）	区分	単位	H30	R1	R2	R3
	①②佐野市を訪れてもらう。 ①②佐野市に宿泊してもらう。 ③おもてなしの心で観光客を受け入れられる。	① 市の観光入込客数	目標	千人	10,000	10,000	10,000	10,000
			実績		8,741	8,575	6,474	6,503
		② 市の観光宿泊客数	目標	人	47,000	48,000	49,000	50,000
			実績		61,489	61,658	38,638	40,914
		③ 外国人宿泊客数	目標	人	700	800	900	1,000
			実績		971	1,390	354	438
		④ 観光ボランティアガイド協会の登録人数	目標	人	50	60	60	70
			実績		35	41	36	33
		⑤	目標					
			実績					

成果指標設定の考え方	成果指標の取得方法
①②③観光の目的で佐野市を訪れてもらう、宿泊してもらう人を増やすことがこの施策の目的であり、観光客の入込数や宿泊数を把握することにより各種事業の成果向上が期待できるため、成果指標として設定した。 ④市民がおもてなしの心を持っていることのひとつの形として、中心的に活動する観光ボランティアガイド協会の登録者数や活動回数を把握することにより、各種事業の成果向上が期待できるため、指標として採用した。	① 栃木県観光客入込数・宿泊数推定調査結果 ② 栃木県観光客入込数・宿泊数推定調査結果 ③ 栃木県観光客入込数・宿泊数推定調査結果 ④ 観光立市推進課資料 ⑤

2. 基本事業の目的と成果把握

基本事業名	対象	意図		成果指標	区分	単位	H30	R1	R2	R3
積極的な誘客を図る観光戦略の推進	①国内に居住する人 ②アジアの観光客	本市の魅力を知ってもらい、来訪、宿泊してもらう。	①	市の観光入込客数	目標	千人	10,000	10,000	10,000	10,000
					実績		8,741	8,575	6,474	6,503
			②	広域での連携事業数	目標	事業	15	15	16	16
					実績		14	8	1	2
			③	テレビ（全国ネット）が取り上げた件数	目標	件	10	10	10	10
					実績		12	16	35	22
インバウンド誘客の強化	①市内事業所 ②アジアの観光客	①受入環境を整備してもらう。 ②本市に来訪、宿泊してもらう。	①	ハラール対応店舗数	目標	店	16	18	20	22
					実績		21	21	21	18
			②	外国人宿泊数	目標	人	700	800	900	1,000
					実績		971	1,390	354	438

基本事業名	対象	意図		成果指標	区分	単位	H30	R1	R2	R3
コンベンション事業の推進	①関連イベント ②関連作品	①本市で開催する。 ②本市で撮影してもらう。	①	コンベンション協会の設立	目標	件	0	1	－	－
					実績		0	0	－	－
			②	コンベンション事業数	目標	事業	8	8	8	8
					実績		7	5	1	1
			③	ロケ誘致件数	目標	件	55	55	55	55
					実績		25	21	17	15
おもてなしの心の醸成	①市民	観光客に対するおもてなしの心が醸成されている。	①	観光ボランティアガイドの活動回数	目標	回	95	100	100	100
					実績		114	73	5	3
			②	まちの駅の数	目標	箇所	55	55	55	55
					実績		35	35	36	34

3. 施策及び基本事業の目標達成度評価

施策

令和3年度施策の取組方針	施策の取組方針・成果指標達成状況	
・観光地経営の担い手となる観光地域づくり候補法人（候補DMO）への支援を行う。また、栃木DCをきっかけとした観光誘客の仕組みづくりと、コンベンション事業及びフィルムコミッション事業の誘致に取り組む。 ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため「新しい生活様式」に沿いながら、栃木県や近隣市町及び観光協会と連携して広域的で効果的な観光情報の発信に取り組む。 ・観光ボランティアガイドの活用を図るとともに、ボランティアガイド養成講座を通して「おもてなしの心」で観光客をもてなすボランティアガイド育成に努める。 ・両毛ムスリムインバウンド推進協議会を中心に企業や地域と連携し、ムスリム受入態勢の充実に取り組む。	取組方針	☐ 全て達成 ☑ 一部未達成 ☐ 全て未達成
	成果指標	☐ 全て達成 ☐ 一部未達成 ☑ 全て未達成

【施策の取組方針達成状況】
・候補DMOが主催する「佐野市観光地域づくり協議会」に参画し、異業種間での情報共有を図った。また、フィルムコミッションのホームページにより、本市の魅力を発信し、撮影問い合わせ件数が増加した。コンベンション事業では、候補DMOと連携しMICE事業を研究した。
・広域でのキャンペーン等が実施できなかったが、SNSを活用した情報発信や観光協会のホームページで観光情報の発信に努めた。
・コロナ禍による、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置により、観光ボランティアガイドの活用が図れず、また、スキルアップのための研修等も実施できなかった。
・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により積極的なインバウンド推進はできなかったが、両毛ムスリムインバウンド推進協議会と連携し、2か国語対応の観光パンフレットを作成した。また、インバウンド誘客の受入態勢の充実を図るため、県と連携し外国人おもてなし英会話セミナーを2回開催した。
【成果指標達成状況】
・観光入込客数、観光宿泊客数、外国人宿泊客数は、前年比それぞれ0.4%、5.9%、23.7%と増加に転じているものの、目標達成には至らなかった。
・ボランティアガイド協会の登録人数は、昨年と比し減少したため、目標達成には至らなかった。

基本事業

基本事業名	令和3年度基本事業の取組方針	基本事業の取組方針・成果指標達成状況	
積極的な誘客を図る観光戦略の推進	・新型コロナウイルス感染症の感染状況を注視しながら近隣市町、関係機関と連携した広域的かつ効果的な観光キャンペーンの実施等、本市の観光情報・魅力を発信する。 ・栃木DCをきっかけとした本市における観光誘客の仕組みづくりと定着の推進を図る。 ・DMOという新たな手法により、民間目線でのマーケティングマネジメントを導入し「稼ぐ力」を引き出し、観光地経営を行う。	取組方針	☐ 全て達成　☑ 一部未達成　☐ 全て未達成
		成果指標	☐ 全て達成　☑ 一部未達成　☐ 全て未達成

【基本事業の取組方針達成状況】
・両毛7市及び東武鉄道と連携し、ポスター・パンフレットを2回作成した。4回の開催を予定していた都内などでのキャンペーン及び東武線における貸客混載による物産の販売は実施できなかった。また、アウトレット内でのイベント実施に向け、毎月の開催を予定し、アウトレット側と協議・準備を重ねてきたが、4回のみの実施となった。
・栃木DCをきっかけとして始めた天明鋳物の風鈴飾りつけは継続的に実施したが、パーク＆トレインライドはコロナ禍等の理由により実施できなかった。
・候補DMOのマーケティングにより、本市を訪れる観光客の動向を把握したが、観光地経営には至らなかった。
【成果指標達成状況】
・観光入込客数は、昨年度より0.4%増加したが、目標達成には至らなかった。
・広域連携事業は、キャンペーン等が中止になり、三毳山連携等の2回のみで目標達成には至らなかった。
・ドラマ等の撮影があり、テレビの放映件数については目標を達成した。

基本事業名	令和3年度基本事業の取組方針	基本事業の取組方針・成果指標達成状況	
コンベンション事業の推進	・コンベンション事業及びフィルムコミッション事業の誘致に努める。	取組方針	☐ 全て達成　☑ 一部未達成　☐ 全て未達成
		成果指標	☐ 全て達成　☐ 一部未達成　☑ 全て未達成

【基本事業の取組方針達成状況】
・コンベンション事業の有効性や候補DMOの役割等、コンベンションやフィルムコミッション事業を推進する体制について検討を行った。
・誘致実績は少なかったが、フィルムコミッションのホームページより、本市の魅力を発信した結果、問い合わせ件数が増えた。

【成果指標達成状況】
・コンベンション協会の設立及びコンベンション事業数、ロケ誘致件数ともに目標達成には至らなかった。

基本事業名	令和3年度基本事業の取組方針	基本事業の取組方針・成果指標達成状況	
インバウンド誘客の強化	・両毛ムスリムインバウンド推進協議会や企業等と連携し、ムスリム受入態勢の充実を図る。	取組方針	☐ 全て達成　☑ 一部未達成　☐ 全て未達成
		成果指標	☐ 全て達成　☐ 一部未達成　☑ 全て未達成

【基本事業の取組方針達成状況】
・訪日ムスリムインバウンド地域おこし協力隊員の公募を3回実施したが、適任者がいなかったため配置できなかった。
・両毛ムスリムインバウンド推進協議会を支援し、2か国語の観光パンフレットを作成した。また、アフターコロナにおけるインバウンド誘客の受入態勢の充実を図るため、県と連携し外国人おもてなし英会話セミナーを2回開催した。
【成果指標達成状況】
・ハラール対応店舗について、新型コロナウイルス感染症による経済情勢の変化により、3店舗が閉店したため目標達成には至らなかった。
・外国人宿泊客数について、昨年より23.7%増となったが、新型コロナウイルス感染症に関する入国制限等の影響により目標達成には至らなかった。

基本事業名	令和3年度基本事業の取組方針	基本事業の取組方針・成果指標達成状況	
おもてなしの心の醸成	・観光ブース及び観光案内所に観光ボランティアガイドを積極的に配置するなど、観光ボランティアガイドの利用促進を図るとともに、「おもてなしの心」で観光客をもてなすボランティアガイドの育成・増員を図る。 ・新たな「まちの駅」の設置と駅間の連携強化を図る。	取組方針	☐ 全て達成　☑ 一部未達成　☐ 全て未達成
		成果指標	☐ 全て達成　☐ 一部未達成　☑ 全て未達成

【基本事業の取組方針達成状況】
・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、観光ボランティアガイドの活動回数が減少しているため、育成・増員には至らなかった。
・新駅拡大のための募集を随時行った。また、「まちの駅通信」を4回発行し、各駅のイベント情報を共有することで各駅間の連携強化を図った。
【成果指標達成状況】
・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、観光ボランティアガイドの活動回数は、3回に留まった。
・新たなまちの駅設置の働きかけを行ったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、経済活動が停滞する中で新駅の加入には至らなかった。

4. 施策の基本情報

施策の基本情報

社会情勢変化、国・県の動向、市民・議会意見等	施策の成果向上に向けての役割分担		
	市民	事業所	行政
・新型コロナウイルス感染症の影響により2021年の訪日客数は前年比94.0%減となり、入国制限の影響を大きく受けた。 ・新型コロナウィルス感染症拡大を受け、令和3年1月には2度目の緊急事態宣言、同年8月には3度目の緊急事態宣言が発出されるなど、度重なる緊急事態宣言やまん延防止等重点措置による行動制限に伴い、観光関連産業に大きな影響を及ぼしている。 ・2022年6月10日より、入国制限の緩和を受け、「外国人観光客の受入れ対応に関するガイドライン」が観光庁より示され、条件付きではあるが海外からのツアーの造成、販売、実施が可能になった。 ・2021年11月、候補DMOにより、多様な関係者の合意形成の場として佐野市観光地域づくり協議会を発足させた。	・市内の魅力を伝える。 ・フィルムコミッション事業にエキストラとして協力する。 ・おもてなしの心で観光客を受け入れる。 ・観光ボランティアとして協力する。 ・外国人旅行者への理解を深める。	・フィルムコミッション事業にロケ地の提供などの協力をする。 ・旅行者のニーズに対応した産品、サービスを開発し、提供する。 ・行政との情報共有など積極的に連携する。 ・まちの駅に登録する。	・市内の観光資源を効果的に結び付け、総合的な観光PR活動を展開する。 ・事業者や関連機関と連携し、観光PRを行う。 ・効果的な誘客の実施 ・「新しい生活様式」に沿った受入環境整備 ・広域連携による観光誘客策の検討 ・おもてなしの心の普及、啓発をする。

5. 施策全体の総括・今後の課題・今後の方向性

施策の成果実績と施策の基本情報及び施策コストに関する全体総括	今後の課題	今後の方向性
・新型コロナウイルスワクチンの接種率の上昇等による移動・行動制限の緩和により、施策の成果指標においてはプラスに作用し、観光入込客数が前年比0.4%増、観光宿泊客数が5.9%増、外国人宿泊客数が23.7%増となったが、コロナ禍以前の状況にはなっていない。 ・両毛ムスリムインバウンド推進協議会と連携を図り、2か国語（日本語、英語）の観光パンフレットを作成し、佐野新都市バスターミナル等、外国人観光客の玄関口となるような場所に配置した。 ・フィルムコミッション事業において、在京民放のドラマの撮影等を誘致した。また、ホームページやSNSにおいて情報発信し、本市のPRと観光誘客を図ることができた。 ・コンベンション事業において、候補DMOと連携し、大会等の誘致について検討した。 ・「観光地域づくり法人形成・確立計画」を観光庁に申請し、2021年3月、（一社）佐野市観光協会を「地域づくり候補法人」（候補DMO）として登録した。 ・「ひとを集める観光戦略の展開」部分の令和3年度決算額は、約2,771万円で、令和2年度決算額約2,755万円に対しほぼ同等であった。	【令和4年度で解決する課題】 ・特になし 【令和5年度以降にも引き継がれる課題】 ①県や近隣市町や関係機関と連携した広域的で効果的な観光情報の発信 ②アフターコロナを見据えたインバウンド誘客 ③ロケの積極的な誘致とフィルムコミッションで支援した作品によるロケ地巡りによる観光誘客 ④コンベンション事業による観光誘客 ⑤観光ボランティアガイドの育成・増員 ⑥デジタル技術を活用した観光PRの推進 【令和5年度重点課題】 ⑦候補DMOを観光地域づくり法人（地域DMO）へ正式に登録する。	①栃木県や近隣市町、観光事業者や鉄道事業者等と連携し、特産品や名産品、伝統工芸品である天明鋳物などを活用し海外を含め広域的に観光PRを実施する。 ②アフターコロナを見据え、訪日ムスリムインバウンド地域おこし協力隊員や企業と連携し、飲食業、宿泊施設等の外国語対応を推進するとともにクリケットを活用したインバウンド誘客を図る。 ③フィルムコミッションのホームページの内容を充実させることや、SNSを活用した本市の魅力発信を行い、ロケの誘致及び誘客を図る。 ④交通の利便性をPRし、コンベンション事業を誘致し、観光誘客を図る。 ⑤隔年開催である観光ボランティアガイド養成講座による人材育成を行う。また、受講生全員が、観光ボランティアガイド協会に加入するよう協会と連携を図る。 ⑥本市の魅力を国内外に情報発信するため、デジタル技術（VR等）の活用を推進する。 ⑦候補DMOを支援し、地域DMOの登録期限である令和5年度末までに正式登録を目指すため、候補DMOとさらに連携し、観光誘客の仕組みづくりを検討する。